

大磯町公共施設等第1期個別施設計画

(平成 29 年度～平成 38 年度)

平 成 30 年 3 月

大磯町

目 次

第1章 総論

1. 背景と目的	1
2. 計画の位置付け	1
3. 計画の期間	2
4. 対象施設	3
5. 個別施設計画における視点	4
6. 今後の取り組みに向けて	4

第2章 個別施設計画

1. 庁舎・消防施設編	5
2. 学校教育施設編	9
3. 子育て支援施設編	13
4. 保健福祉施設編	15
5. 地域集会施設編	18
6. 社会教育・スポーツ施設編	23
7. その他施設編	27
8. インフラ施設編	32
対象施設建物詳細	35

第1章 総論

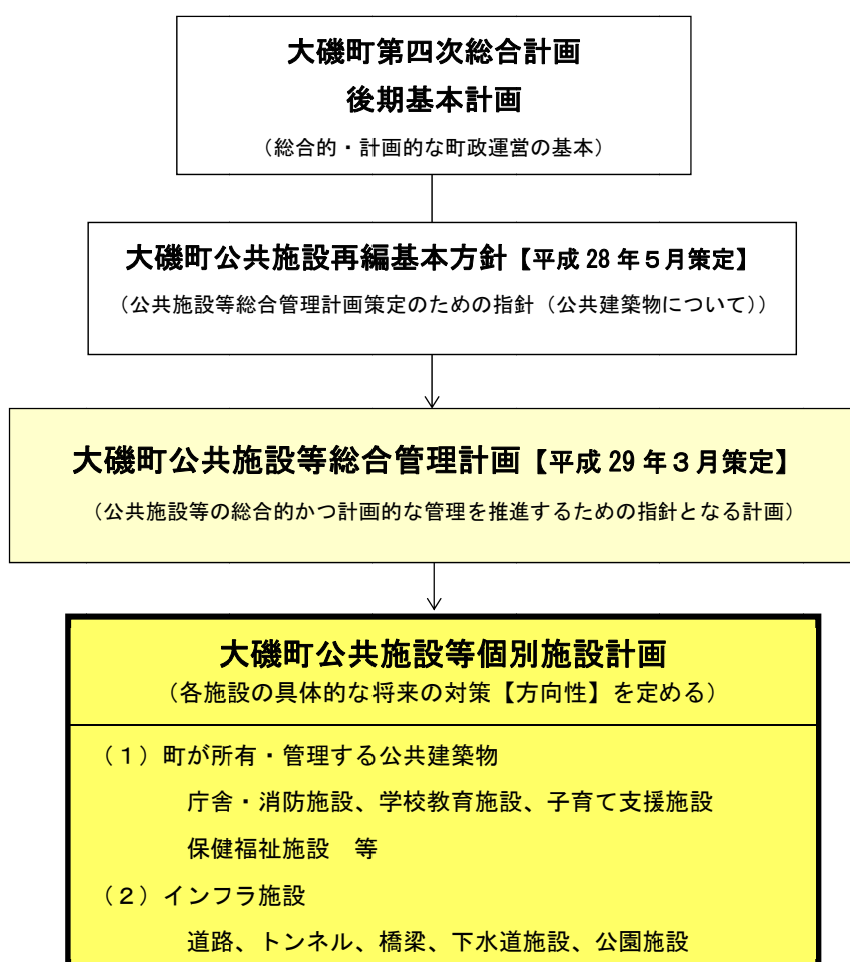
1. 背景と目的

平成 28 年 5 月に予想される今後の財政状況と公共施設等の改修・建替に掛かる経費のバランスをとるために、公共施設等の在り方や見直しを進めるに当たっての基本的な方向性を示す「大磯町公共施設再編基本方針」を策定し、平成 29 年 3 月には、町の所管する公共建築物とインフラ施設を対象として、持続可能で適正な施設規模や、予防保全による財政負担の平準化を図るため、「大磯町公共施設等総合管理計画」（以下、「総合管理計画」という。）を策定しました。

「総合管理計画」では、公共施設等の総量把握とその管理に対する現状の課題認識を整理し、計画的な施設管理における 6 つの基本方針と施設類型ごとの取組方針が定められており、それらを踏まえ、各施設の具体的な将来の対策（方向性）を定める「大磯町公共施設等個別施設計画」（以下、「本計画」という。）を策定するものです。

2. 計画の位置付け

本計画は、総合管理計画の下位計画であり、本町の最上位計画である総合計画をはじめ、各所管課の関連計画との整合を図り、策定します。

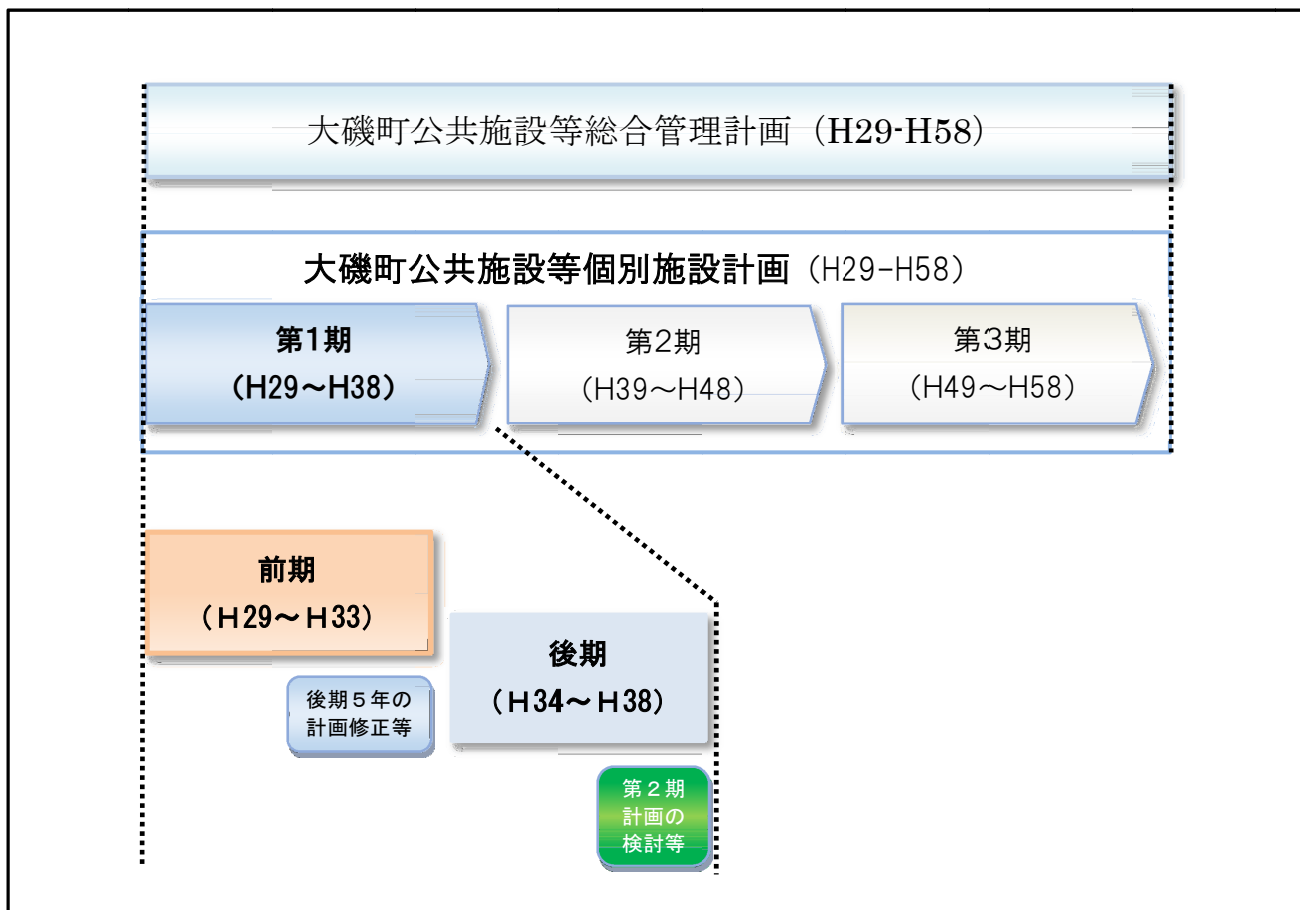


3. 計画の期間

本計画では、公共施設等の一般的な耐用年数を踏まえ、中長期的な視点が不可欠なため総合管理計画の計画期間と同様に計画の期間を30年間とします。

また、総合管理計画では計画期間を3つの推進期間に分割し、10年ごとの改訂を通じて期ごとに具体的な計画を策定することとしており、平成29年度から平成38年度までを第1期とし、そのうち前期5年間（平成29年度～平成33年度）と後期5年間（平成34年度～平成38年度）の年次計画を示しています。

第1期以後は、10年ごとに第2期、第3期に分け計画の策定を行い、計画期間中は、前期と後期の5年間において計画の進捗を管理・予想しながら後期5年間の修正や見直し、次期10年間の計画を検討します。



計画期間の考え方

4. 対象施設

本計画の対象施設は、総合管理計画で対象としている以下の施設等です。公共建築物は、施設類型ごとに第1期対象施設の個別施設計画を作成しています。

公共建築物の対象施設

公共建築物の類型	対象施設	所管課
① 庁舎・消防施設	本庁舎、保健センター、国府支所 消防署・消防本部、国府分署（支所複合）、 分団	総務課 町民課 消防総務課
② 学校教育施設	小学校、中学校、 幼稚園	学校教育課 子育て支援課
③ 子育て支援施設	保育園、学童保育所、横溝千鶴子記念子育て 支援総合センター	子育て支援課
④ 保健福祉施設	ふれあい会館、福祉センター、横溝千鶴子記 念障害福祉センター、老人福祉センター	福祉課
⑤ 地域集会施設	福祉館、老人憩の家、会館、児童館、防災館	町民課
⑥ 社会教育・スポ ーツ施設	岩田孝八記念室内競技場、大磯運動公園（管 理棟ほか）、生涯学習館、郷土資料館、旧吉 田茂邸、図書館、図書館分館（支所複合）、 武道館（消防署内）	福祉課 都市計画課 生涯学習課 スポーツ健康課
⑦ その他施設	【産業観光施設】農産物加工所、農産物直売 所、観光案内所、ポートハウスてるがさき、 鳴立庵、旧島崎藤村邸	産業観光課
	【町営住宅】月京住宅、東町住宅	福祉課
	【駐車場施設】駅前自転車駐車場	町民課
	【美化センター施設】し尿処理施設、管理棟	美化センター
	【その他】駅前公衆トイレ	産業観光課

インフラ施設の対象施設

インフラ施設の類型	対象施設	所管課
①道路	道路舗装	建設課
②トンネル	トンネル	建設課
③橋梁	橋梁	建設課
④下水道施設	下水道管渠	下水道課
⑤公園施設	大磯運動公園、都市公園、児童遊園	都市計画課

5. 個別施設計画における視点

本計画における第1期の対象施設は、総合管理計画で定められた施設類型ごとの基本方針にある再編への取組と以下の視点を踏まえ、着実な推進に向け、取組を進めていきます。

- (1) 地方公共団体が特に法律・政令で義務付けられている事務として、行政機能（本庁舎等）、義務教育機能（小・中学校）、消防・救急・防災機能（消防署等）また、保険機能（国民健康保険、介護保険）など必要不可欠な機能を有する施設の維持存続は優先する。
- (2) 築年数が長い施設は、施設本体の更新時期や設備等の老朽化による安全性に対する課題もあり、施設・設備が使用停止となる事態を防止する。
- (3) 築年数が浅く、計画的な予防保全や維持保全に取り組めるものや、民間活力の活用や民間への移管や自治会（地縁団体）への移管が検討可能なもの。
- (4) 第1期の計画期間においては、公共施設以外での代替が困難なもの。

6. 今後の取り組みに向けて

本計画における各施設の対策（方向性）に従い、個別施設ごとに具体的な取り組みを行います。が、事務的な整理や整備手法などの検討と共に対策（方向性）の決定にあたっては、対象施設に関連する町民・利用者・関係団体等との協議を行い、十分な調整を行いながら進めます。

また、長寿命化の推進や予防・維持保全の推進を行う施設については、修繕（改修）計画を検討し、事業実施に際しては、上位計画である「総合計画」への位置づけや「行政経営プラン」との整合性を図り財政負担の平準化を図ります。

なお、第1期の計画期間で対策（方向性）が「存続」となっている施設においても、建物の築年数が長いものや社会情勢や町民ニーズの変化により施設の在り方を考慮するものについては、第2期以降の計画策定時において対策（方向性）を改めて検討します。

第2章 個別施設計画

個別施設計画

1. 庁舎・消防施設編

1. 対象施設一覧

No	施設名	建築年	階数 ※	構造	延床面積 (㎡)	備考
1	本庁舎	1971	5(1)	RC造	3,869	町役場
2	保健センター	1982	2	RC造	889	
3	国府支所《複合》	1978	2	RC造	652	
4	消防署・消防本部《複合》	1974	4	RC造	1,384	武道館
5	国府分署《複合》	1996	2	S造	537	国府支所増築部1階 (2階図書館国府分館)
6	第1分団	1983	2	S造	46	
7	第2分団	1994	2	S造	69	
8	第3分団	1995	2	S造	82	
9	第4分団《複合》	1992	2(1)	RC造	230	西小磯防災館
10	第5分団	1992	2	S造	74	
11	第6分団《複合》	1992	2	RC造	344	国府新宿福祉館
12	第7分団	1985	2	S造	66	
13	第8分団	1988	2	S造	66	
14	第9分団	1986	1	S造	56	
15	第10分団	1985	1	S造	49	
16	第11分団《複合》	1983	2(1)	RC造	1,864	図書館
17	第12分団	1995	2	S造	77	

※()は地下の階数

2. 施設整備状況

《本庁舎》

昭和46年に建設され、築46年が経過している。平成13、14年度に耐震補強工事、平成14年度に空調設備改修工事、平成20年度に駐車場整備工事、平成26年度に非常用自家発電設備整備工事を実施している。

《保健センター》

昭和 57 年に建設され、築 35 年が経過している。平成 10 年度に冷暖房設備改修工事、平成 14 年度にエレベータ設置工事、平成 26 年度に非常用自家発電設備整備工事を実施している。

《国府支所》

昭和 53 年に建設され、築 39 年が経過している。平成 8 年に西部地区防災施設整備工事で国府分署等が増築され複合施設となっている。平成 25 年度に耐震補強・改修工事、平成 27 年度に太陽光発電設備等設置工事を実施している。

《消防署・消防本部（武道館）》

昭和 49 年に建設され、築 43 年が経過している。平成 2 年度・3 年度に施設改修工事、平成 5 年度に耐震補強工事、平成 26 年度に非常用自家発電設備整備、平成 28 年度にアスベスト対策工事を実施している。

《国府分署（国府支所増築部）》

平成 8 年に国府支所に増築され、築 21 年が経過している。2 階は、図書館国府分館となっている。

《第 1 分団》

昭和 58 年に建設され、築 34 年が経過している。

《第 2 分団》

平成 6 年に建設され、築 23 年が経過している。

《第 3 分団》

平成 7 年に建設され、築 22 年が経過している。

《第 4 分団（西小磯防災館）》

平成 4 年に建設（西小磯防災館に併設）され、築 25 年が経過している。

《第 5 分団》

平成 4 年に建設され、築 25 年が経過している。平成 26 年度に外壁等改修工事を実施している。

《第 6 分団（国府新宿福祉館）》

平成 4 年に建設（国府新宿福祉館に併設）され、築 25 年が経過している。

《第 7 分団》

昭和 60 年に建設され、築 32 年が経過している。

《第 8 分団》

昭和 63 年に建設され、築 29 年が経過している。

《第 9 分団》

昭和 61 年に建設され、築 31 年が経過している。

《第 10 分団》

昭和 60 年に建設され、築 32 年が経過している。

《第 11 分団（図書館）》

昭和 58 年に建設（図書館に併設）され、築 34 年が経過している。

《第 12 分団》

平成 7 年に建設され、築 22 年が経過している。

3. 今後の方向性

(1) 再編への取組方針

- ①施設の多機能化や複合化を検討
- ②耐震性能確保を推進
- ③老朽化施設への早期な対応
- ④施設運営の見直し・廃止

(2) 施設計画

(期別計画)

第1期 (H29～H38)	第2期以降 (H39～H58)
本庁舎 保健センター 消防署・消防本部	国府支所 国府分署(国府支所増築部) 第1分団～第12分団



(個別計画)

No	施設名	対策(方向性)	説明
1	本庁舎	複合化《建替》	災害時の防災拠点であり、必要な耐震性の確保が早急に必要ことから場所や規模、複合化も含め建替等の調査・協議を行う。
2	保健センター	複合化	多くの健診等を実施しており、所管課の事務室も同一建物とした方が業務効率も良いことから本庁舎との複合化について調査・協議を行う。
4	消防署・消防本部	複合化	消防・救急活動を行う施設であるが、施設の老朽化が進んでおり、大規模改修又は建替等の調査・協議を行う。

(3) 第1期（平成29年度から平成38年度まで）の計画

スケジュール									
施設名	H29	H30	H31	H32	H33	H34～H38			
本庁舎		複合化《建替》 調査・協議・決定		基本構想		基本・実施設計			
保健センター			複合化 調査・協議・決定						
消防署・ 消防本部			複合化 調査・協議・決定						

個別施設計画

2. 学校教育施設編

1. 対象施設一覧

No	施設名	建築年	階数 ※	構造	延床面積 (㎡)	備考
1	大磯小学校	対象施設建物詳細 (P. 35) 参照			9,146	全 8 棟
2	国府小学校				9,320	全 5 棟
3	大磯中学校				7,715	全 6 棟
4	国府中学校				6,844	全 4 棟
5	大磯幼稚園	1981	2	RC 造	1,125	
6	国府幼稚園	対象施設建物詳細 (P. 35) 参照			833	全 2 棟
7	たかとり幼稚園				1,117	

※ () は地下の階数

2. 施設整備状況

《大磯小学校》

昭和 60 年に中校舎が建設され、築 32 年が経過し、平成 11・12 年に南校舎・本館が改築され、築 17・18 年が経過している。平成 24・25 年度に体育館の耐震補強・改修工事、平成 27 年度にグラウンド改修工事を実施している。

《国府小学校》

平成 3・4 年に校舎が建設され、築 25・26 年が経過し、平成 24 年にプールが建設され、築 5 年が経過している。平成 13・14 年度に環境対策工事、平成 25 年度にトイレ等改修工事、平成 28 年度に校舎屋上防水改修工事を実施している。

《大磯中学校》

昭和 35 年に 1 号館が建設され、築 57 年が経過し、昭和 40 年に 2 号館、体育館が建設され、築 52 年が経過、昭和 58 年に 3 号館が建設され、築 34 年が経過している。平成 17 年度に 1、2 号館の耐震改修工事、平成 19 年度に体育館の耐震改修工事を実施している。

《国府中学校》

昭和 55 年に A、B 棟（校舎）が建設され、築 37 年が経過し、昭和 57 年に体育館が建設され、築 35 年が経過している。平成 21 年度に A、B 棟の耐震改修工事、平成 23 年度にグラウンド改修工事、平成 27・28 年度に体育館耐震補強・改修工事を実施している。

《大磯幼稚園》

昭和 56 年に建設され、築 36 年が経過している。平成 2 年度に園庭等整備工事、平成 27 年度にトイレ改修工事を実施している。

《国府幼稚園》

昭和 56 年に建設され、築 36 年が経過している。平成 21 年度に耐震改修工事を実施している。平成 30 年 3 月 31 日をもって閉園し、閉園後は、私立認定こども園が開園するため、平成 29 年度に園舎北側を解体、平成 30 年度に園舎南側を解体する。

《たかとり幼稚園》

平成 22 年に建設され、築 7 年が経過している。

3. 今後の方向性

(1) 再編への取組方針

- ①長寿命化
- ②複合化
- ③民営化

(2) 施設計画

(期別計画)

第 1 期 (H29～H38)	第 2 期以降 (H39～H58)
大磯小学校 国府小学校 大磯中学校 国府中学校 大磯幼稚園 国府幼稚園 たかとり幼稚園	大磯小学校《第 3 期》 国府中学校《第 3 期》 大磯幼稚園《第 3 期》



(個別計画)

No	施設名	対策(方向性)	説明
1	大磯小学校	存続	公共施設以外での代替及び、今後の児童生徒数見込みから統廃合等は難しいため長寿命化に向けた計画的な保全を進める。

No	施設名	対策（方向性）	説明
2	国府小学校	存続	公共施設以外での代替及び、今後の児童生徒数見込みから統廃合等は難しいため長寿命化に向けた計画的な保全を進める。
3	大磯中学校	存続、検討	公共施設以外での代替及び、今後の児童生徒数見込みから統廃合等は難しいため長寿命化に向けた計画的な保全を進める。
4	国府中学校	存続	公共施設以外での代替及び、今後の児童生徒数見込みから統廃合等は難しいため長寿命化に向けた計画的な保全を進める。
5	大磯幼稚園	存続	「大磯町子ども笑顔かがやきプラン」における、町立幼稚園 4 園を 2 園に統廃合する計画が進められた。小磯幼稚園が廃止され、大磯幼稚園に統合されている。長寿命化に向けた計画的な保全を進める。
6	国府幼稚園	廃止	「大磯町子ども笑顔かがやきプラン」における、町立幼稚園 4 園を 2 園に統廃合する計画が進められ、平成 30 年 3 月末たかとり幼稚園に統合され、閉園となる。
7	たかとり幼稚園	存続	「大磯町子ども笑顔かがやきプラン」における、町立幼稚園 4 園を 2 園に統廃合する計画が進められ、平成 30 年 3 月末国府幼稚園を廃止し、たかとり幼稚園に統合する。

（３）第１期（平成 29 年度から平成 38 年度まで）の計画

スケジュール							
施設名	H29	H30	H31	H32	H33	H34～H38	
大磯小学校	存続	長寿命化の推進					

施設名	H29	H30	H31	H32	H33	H34～H38			
国府小学校	存続	長寿命化の推進							
大磯中学校	存続		3号館 大規模 改修 設計		検討 1・2号館 体育館				
国府中学校	存続	長寿命化の推進							
大磯幼稚園	存続	長寿命化の推進							
国府幼稚園	廃止								
たかとり幼稚園	存続	計画的な予防・ 維持保全の推進							

個別施設計画

3. 子育て支援施設編

1. 対象施設一覧

No	施設名	建築年	階数	構造	延床面積 (㎡)	備考
1	国府保育園	1985	2	RC 造	726	
2	国府学童保育クラブ	2008	1	RC 造	182	
3	横溝千鶴子記念 子育て支援総合センター	2010	1	S 造	301	

2. 施設整備状況

《国府保育園》

昭和 60 年に建設され、築 32 年が経過している。平成 5 年度に改修工事、平成 12 年度に増築工事、平成 17 年度に屋根等改修工事を実施している。

《国府学童保育クラブ》

平成 20 年に建設され、築 9 年が経過している。

《子育て支援総合センター》

平成 22 年に建設され、築 7 年が経過している。

3. 今後の方向性

(1) 再編への取組方針

- ①長寿命化
- ②施設多機能化や複合化を検討
- ③民営化

(2) 施設計画

(期別計画)

第 1 期 (H29～H38)	第 2 期以降 (H39～H58)
国府保育園 国府学童保育クラブ 子育て支援総合センター	



(個別計画)

No	施設名	対策（方向性）	説明
1	国府保育園	検討	「大磯町子ども笑顔かがやきプラン」において、平成 30 年度に公立幼稚園を統廃合し、1 園を民設民営の認定こども園に移行した後も、公立保育所の存続を明記しているが、待機児童数や保育の量の見込みを今後検証した中で、施設存続のあり方を検討する必要がある。
2	国府学童保育クラブ	存続	行政サービスとして必要、また、現時点で公共施設以外での代替は困難。
3	子育て支援総合センター	存続	つどいの広場運営及び施設管理の指定管理を進める。

(3) 第 1 期（平成 29 年度から平成 38 年度まで）の計画

スケジュール									
施設名	H29	H30	H31	H32	H33	H34～H38			
国府保育園		検討 調査・検討							
国府学童保育クラブ	存続	計画的な予防・維持保全の推進							
子育て支援総合センター	存続	計画的な予防・維持保全の推進							

個別施設計画

4. 保健福祉施設編

1. 対象施設一覧

No	施設名	建築年	階数 ※	構造	延床面積 (㎡)	備考
1	ふれあい会館	1983	3	S 造	631	
2	福祉センター	1994	2 (1)	RC 造	1,464	
3	横溝千鶴子記念 障害福祉センター	2002	2	RC 造	985	
4	老人福祉センター	1979	1	RC 造	595	世代交流センター

※ () は地下の階数

2. 施設整備状況

《ふれあい会館》

昭和 58 年に建設され、築 34 年が経過している。平成 17 年度に屋上防水等改修工事、平成 17・21 年度にアスベスト除去・対策工事、平成 25 年度に空調設備改修工事を実施している。

《福祉センター》

平成 6 年に建設され、築 23 年が経過している。平成 20 年度に給湯設備改修工事、平成 22 年度に金属屋根改修工事、平成 29 年度に空調設備改修工事を実施している。

《障害福祉センター》

平成 14 年に建設され、築 15 年が経過している。

《老人福祉センター》

昭和 54 年に建設され、築 38 年が経過している。平成 10 年度に岩田孝八記念室内競技場建設に合わせ改修工事、平成 26 年度に屋上（一部）防水工事を実施している。

3. 今後の方向性

(1) 再編への取組方針

- ① 運営継続・廃止等を検討
- ② 民営化
- ③ 類似機能共有化
- ④ 施設使用料の見直し

(2) 施設計画

(期別計画)

第1期 (H29～H38)	第2期以降 (H39～H58)
ふれあい会館 福祉センター 障害福祉センター 老人福祉センター	



(個別計画)

No	施設名	対策(方向性)	説明
1	ふれあい会館	集約化	地域会館施設の機能があるため、施設の用途を整理し、施設の貸出しを行う同様な施設との集約化について協議する。
2	福祉センター	民間移管	現在の指定管理契約期間内に民間移管について施設も含め協議する。
3	障害福祉センター	存続	行政窓口としての機能及び障害者団体等の使用のあり方について検討する。 施設の計画的な保全を進める。
4	老人福祉センター	検討	世代交流の拡大に向け、施設が有効活用されるよう民間活力の導入など多角的に捉え、検討していくとともに、建物の計画的な維持保全を行う。 なお、再編への取組みに当たっては隣接する岩田孝八記念室内競技場と一体的に検討する。

(3) 第1期(平成29年度から平成38年度まで)の計画

スケジュール								
施設名	H29	H30	H31	H32	H33	H34~H38		
ふれあい会館					集約化 協議・決定	集約化に 向けた取組み		
福祉センター			民間移管 協議・決定		民間移管に 向けた手続き			
障害福祉 センター	存続	計画的な予防・ 維持保全の推進						
老人福祉 センター		検討 調査・検討						

個別施設計画

5. 地域集会施設編

1. 対象施設一覧

No	施設名	建築年	階数 ※	構造	延床面積 (㎡)	備考
1	東町福祉館	1986	2	S 造	207	
2	長者町老人憩の家	1979	2	RC 造	210	
3	北下町福祉館	1987	2	S 造	164	
4	南本町会館	1994	2	木造	74	
5	裡道児童館	1977	2	木造	163	
6	台町会館	2012	2	RC 造	205	
7	西小磯東老人憩の家	1981	2	S 造	200	
8	西小磯西老人憩の家	1974	2	RC 造	190	
9	中丸会館	1998	2	S 造	217	
10	馬場老人憩の家	1983	2	S 造	205	
11	国府新宿福祉館《複合》	1992	2	RC 造	344	第 6 分団
12	月京会館	2009	2	RC 造	257	
13	生沢会館	1994	2	S 造	223	
14	寺坂老人憩の家	1982	1	木造	149	
15	虫窪老人憩の家	1974	1	木造	138	
16	西久保福祉館	1980	1	木造	133	
17	石神台会館	1980	2	S 造	179	
18	東小磯防災館	1986	2	RC 造	87	
19	西小磯防災館《複合》	1992	2 (1)	RC 造	230	第 4 分団

※ () は地下の階数

2. 施設整備状況

《東町福祉館》

昭和 61 年に建設され、築 31 年が経過している。平成 14 年度に外壁改修工事及び 2 階バルコニー防水工事を実施している。

《長者町老人憩の家》

昭和 54 年に建設され、築 38 年が経過している。平成 5 年度に改修工事、平成 23 年度に耐震補強工事を実施している。

《北下町福祉館》

昭和 62 年に建設され、築 30 年が経過している。平成 7 年度に冷暖房設備設置工事を実施している。

《南本町会館》

平成 6 年に建設され、築 23 年が経過している。

《裡道児童館》

昭和 52 年に建設され、築 40 年が経過している。平成 15 年度に屋根改修工事、平成 24 年度に耐震補強工事を実施している。

《台町会館》

平成 24 年に建設され、築 5 年が経過している。

《西小磯東老人憩の家》

昭和 56 年に建設され、築 36 年が経過している。平成 16 年度に外壁改修等工事を実施している。

《西小磯西老人憩の家》

昭和 49 年に建設され、築 43 年が経過している。平成元年度に改修工事を実施している。

《中丸会館》

平成 10 年に建設され、築 19 年が経過している。

《馬場老人憩の家》

昭和 58 年に建設され、築 34 年が経過している。平成 6 年度に改修工事、平成 15 年度にエアコン設置工事を実施している。

《国府新宿福祉館（第 6 分団）》

平成 4 年に建設され、築 25 年が経過している。平成 6 年度に冷暖房設備設置工事を実施している。

《月京会館》

平成 21 年に建設され、築 8 年が経過している。

《生沢会館》

平成 6 年に建設され、築 23 年が経過している。

《寺坂老人憩の家》

昭和 57 年に建設され、築 35 年が経過している。平成 5 年度に改修工事を実施している。

《虫窪老人憩の家》

昭和 49 年に建設され、築 43 年が経過している。平成 7 年度に改修工事、平成 22 年度に耐震補強工事を実施している。

《西久保福祉館》

昭和 55 年に建設され、築 37 年が経過している。平成 13 年度に防災工事、平成 24 年度に耐震補強工事を実施している。

《石神台会館》

昭和 55 年に建設され、築 37 年が経過している。平成 4 年度に外壁改修等工事、平成 16 年度に改修工事を実施している。

《東小磯防災館》

昭和 61 年に建設され、築 31 年が経過している。

《西小磯防災館（第4分団）》

平成4年に建設され、築25年が経過している。

3. 今後の方向性

（1）再編への取組方針

- ①財産移管
- ②統廃合

（2）施設計画

（期別計画）

第1期 (H29～H38)	第2期以降 (H39～H58)
長者町老人憩の家（38年） 裡道児童館（40年） 台町会館（5年） 西小磯西老人憩の家（43年） 月京会館（8年） 虫窪老人憩の家（43年）	東町福祉館 北下町福祉館 南本町会館 西小磯東老人憩の家 中丸会館 馬場老人憩の家 国府新宿福祉館 生沢会館 寺坂老人憩の家 西久保福祉館 石神台会館 東小磯防災館 西小磯防災館

※（○年）は築年数を示す



（個別計画）

No	施設名	対策（方向性）	説明
2	長者町老人憩の家	町民移管 統廃合	建物の更新時期を見据え、地域の活動拠点として存続していくため、自治会（地縁団体）への移管や移管に合わせた統廃合などの協議を行う。

No	施設名	対策（方向性）	説明
5	裡道児童館	町民移管 統廃合	建物の更新時期を見据え、地域の活動拠点として存続していくため、自治会（地縁団体）への移管や移管に合わせた統廃合などの協議を行う。
6	台町会館	町民移管 統廃合	築年数が浅いため施設状態も良好で地域の活動拠点として存続していくため、自治会（地縁団体）への移管や移管に合わせた統廃合などの協議を行う。
8	西小磯西老人憩の家	町民移管 統廃合	建物の更新時期を見据え、地域の活動拠点として存続していくため、自治会（地縁団体）への移管や移管に合わせた統廃合などの協議を行う。
12	月京会館	町民移管 統廃合	築年数が浅いため施設状態も良好で地域の活動拠点として存続していくため、自治会（地縁団体）への移管や移管に合わせた統廃合などの協議を行う。
15	虫窪老人憩の家	町民移管 統廃合	建物の更新時期を見据え、地域の活動拠点として存続していくため、自治会（地縁団体）への移管や移管に合わせた統廃合などの協議を行う。

（３）第１期（平成 29 年度から平成 38 年度まで）の計画

スケジュール						
施設名	H29	H30	H31	H32	H33	H34～H38
台町会館			町民移管・統廃合 協議・決定			移管等に向けた手続き
月京会館			町民移管・統廃合 協議・決定			移管等に向けた手続き

施設名	H29	H30	H31	H32	H33	H34～H38
虫窪老人憩の家			町民移管・統廃合 協議・決定			移管等に向けた手続き
長者町老人憩の家						町民移管・統廃合 協議・決定
裡道児童館						町民移管・統廃合 協議・決定
西小磯西老人憩の家						町民移管・統廃合 協議・決定

個別施設計画

6. 社会教育・スポーツ施設編

1. 対象施設一覧

No	施設名	建築年	階数 ※	構造	延床面積 (㎡)	備考
1	岩田孝八記念室内競技場	1998	2	SRC 造	742	世代交流センター
2	大磯運動公園 管理棟ほか	対象施設建物詳細 (P. 35) 参照			1,575	3 棟
3	生涯学習館	1974	2	RC 造	480	
4	郷土資料館	1988	2 (2)	RC 造	1,773	本館
5	旧吉田茂邸	2016	2 (1)	木造一部 RC 造	743	郷土資料館別館
6	図書館《複合》	1983	2 (1)	RC 造	1,864	第 11 分団
7	国府分館《複合》	1996	2	S 造	537	国府支所増築部 2 階 (1 階消防署国府分署)
8	武道館《複合》	1974	4	RC 造	1384	消防署・消防本部 3 階

※ () は地下の階数

2. 施設整備状況

《岩田孝八記念室内競技場》

平成 10 年に建設され、築 19 年が経過している。

《大磯運動公園管理棟ほか》

平成 14 年に管理棟・屋外便所が建設され、築 15 年が経過し、平成 15 年に倉庫棟が建設され、築 14 年が経過している。平成 28 年度に外構等の施設整備工事を実施している。

《生涯学習館》

昭和 49 年に神奈川県が建設し、築 43 年が経過している。平成 18 年から所有（土地・建物）が町となり、平成 20 年度に駐車場舗装工事、平成 26 年度に耐震補強及びトイレ改修工事を実施している。

《郷土資料館》

昭和 63 年に建設され、築 29 年が経過している。平成 27～28 年度に展示リニューアル工事、28 年度に中庭整備工事を実施している。

《旧吉田茂邸》

平成 28 年に建設され、平成 29 年 4 月に開館している。

《図書館（第 11 分団）》

昭和 58 年に建設され、築 34 年が経過している。平成 3 年度に内部改修工事、平成 25・26 年度に空調設備改修工事を実施している。

《国府分館（国府支所増築部）》

平成 8 年に国府支所へ増築され、築 21 年が経過している。1 階が国府分署となっている。

《武道館（消防署・消防本部）》

昭和 49 年に建設され、築 43 年が経過している。平成 2・3 年度に施設改修工事、平成 5 年度に耐震補強工事、平成 26 年度に非常用自家発電設備整備、平成 28 年度にアスベスト対策工事を実施している。

3. 今後の方向性

（１）再編への取組方針

- ①民営化
- ②類似機能共有化
- ③広域化

（２）施設計画

（期別計画）

第 1 期 (H29～H38)	第 2 期以降 (H39～H58)
岩田孝八記念室内競技場 大磯運動公園管理棟ほか 生涯学習館 郷土資料館 旧吉田茂邸 図書館	武道館 図書館《第 3 期》 国府分館（国府支所増築部）



（個別計画）

No	施設名	対策（方向性）	説明
1	岩田孝八記念室内競技場	検討	世代交流の拠点として、隣接する老人福祉センターと一体的に再編を行っていく。なお、寄付により建設された施設であることから、再編への取組みに当たっては慎重に検討していく。

No	施設名	対策（方向性）	説明
2	大磯運動公園 管理棟ほか	存続	町内にある唯一の運動公園であり、他の施設では代替できないため。
3	生涯学習館	集約化	施設の貸出しを行う同様な施設の集約化について協議する。
4	郷土資料館	存続	町の文化資産を管理する専用施設として、整備、設置されているため、他施設での運用や施設の用途変更は困難。
5	旧吉田茂邸	存続	展示施設、研修施設として平成 29 年度開館。今後、運営にあたっては、指定管理者の手法を含めて検討を進めていく。
6	図書館《複合》	存続	昭和 58 年に開館し、図書館資料の保存及び提供を今後も継続することは、他の施設では困難。

（３）第１期（平成 29 年度から平成 38 年度まで）の計画

スケジュール									
施設名	H29	H30	H31	H32	H33	H34～H38			
岩田孝八記念 室内競技場		検討 調査・検討							
大磯運動公園 管理棟ほか	存続	長寿命化の推進							
生涯学習館		集約化 協議・決定				集約化に向けた取組み			

施設名	H29	H30	H31	H32	H33	H34～H38				
郷土資料館	存続	長寿命化の推進								
旧吉田茂邸	存続	計画的な予防・維持 保全の推進	管理・ 運営方 法検討	指定管理者制度 の導入						
図書館《複合》	存続	長寿命化の推進								

個別施設計画

7. その他施設編

1. 対象施設一覧

No	施設名	建築年	階数 ※	構造	延床面積 (㎡)	備考
1	農産物加工所	1993	1	木造	75	
2	農産物直売所	1992	1	木造	13	
3	観光案内所	1984	2	S造	34	
4	ポートハウスてるがさき	1995	1	RC造	217	
5	鳴立庵	1987	1	木造	110	
6	旧島崎藤村邸	1996	1	木造	127	
7	町営月京住宅	2012	3	RC造	1,474	
8	町営東町住宅	1954	1	木造	35	
9	駅前自転車駐車場	2015	2(1)	S造	2,413	
10	し尿処理施設	1978	2(1)	RC造	1,587	美化センター
11	し尿処理施設管理棟	1978	2	RC造	382	美化センター
12	駅前公衆トイレ	2008	1	RC造	42	

※()は地下の階数

2. 施設整備状況

《農産物加工所》

平成5年に建設され、築24年が経過している。

《農産物直売所》

平成4年に建設され、築25年が経過している。

《観光案内所》

昭和59年に建設され、築33年が経過している。

《ポートハウスてるがさき》

平成7年に建設され、築22年が経過している。平成18年度にプールサイド床等改修工事、平成26年度に施設整備工事を実施している。

《鳴立庵》

昭和62年に復元工事が行われ、復元後30年が経過している。平成19年度に茅葺屋根葺替工事を実施している。

《旧島崎藤村邸》

平成7年に既存建物等の整備工事が行われ、整備後22年が経過している。平成20年度に周辺整備工事を実施している。

《町営月京住宅》

平成 24 年に建設され、築 5 年が経過している。

《町営東町住宅》

昭和 29 年に建設され、築 63 年が経過している。

《駅前自転車駐車場》

平成 27 年に建設され、築 2 年が経過している。

《し尿処理施設》

昭和 53 年に建設され、築 39 年が経過している。毎年度設備関係の点検・整備が行われ、平成 22 年度にアスベスト対策工事を実施している。

《し尿処理施設管理棟》

昭和 53 年に建設され、築 39 年が経過している。

《駅前公衆トイレ》

平成 20 年に建設され、築 9 年が経過している。

3. 今後の方向性

(1) 再編への取組方針

- ①運営継続・廃止等を検討
- ②施設運営の見直し
- ③施設の多機能化（複合化）を検討
- ④広域化

(2) 施設計画

(期別計画)

第 1 期 (H29～H38)	第 2 期以降 (H39～H58)
農産物加工所 農産物直売所 観光案内所 町営月京住宅 町営東町住宅 駅前自転車駐車場 し尿処理施設 し尿処理施設管理棟 駅前公衆トイレ	ポートハウスてるがさき 鳴立庵 旧島崎藤村邸



(個別計画)

No	施設名	対策（方向性）	説明
1	農産物加工所	複合化	行政サービスとしては必要だが、効率的な施設の維持管理を図る観点から他施設との複合化を検討する。
2	農産物直売所	廃止	行政サービスとしての必要性は低い ため、施設については廃止を協議するとともに、大磯港賑わい創出施設での町内農産物の販売機会の提供など販路確保に向けた調整を行う。
3	観光案内所	民間移管	行政サービスとしては必要だが、民間施設においても提供できるサービスであるため、民間移管。ただし、既存施設の老朽化が目立つため、複合化等の選択肢や駅前計画との連動も含めて幅広く検討していく。
7	町営月京住宅	存続	予防保全に努めた修繕計画と共に施設の管理・運営形態を検討する。
8	町営東町住宅	廃止	入居者の退去に合わせて、用途廃止を行う。
9	駅前自転車駐車場	存続	駅前駐輪場の安定的な確保のため、旧駅前東駐輪場と旧駅前西駐輪場を統合し整備、設置されているため。
10	し尿処理施設	広域化《建替》	1市2町ごみ処理広域化計画において新設を計画（施設の老朽化に加え、建設当初の性状及び処理量が大きく変わってきたため、新たな施設の建設を行う）。
11	し尿処理施設管理棟	広域化《建替》	既存し尿処理施設に合わせ廃止する。 機能は、新たなし尿処理施設に集約させる。
12	駅前公衆トイレ	存続	行政サービスとしては必要だが、駅前計画との連動も含めて幅広く検討が必要。

(3) 第1期(平成29年度から平成38年度まで)の計画

スケジュール									
施設名	H29	H30	H31	H32	H33	H34～H38			
農産物加工所			複合化 協議・決定		複合化に 向けた取組み				
農産物直売所			廃止 協議・決定		廃止に 向けた手続き				
観光案内所				民間移管 協議・決定	民間移管に 向けた取組み				
町営月京住宅	存続	計画的な予防・ 維持保全の推進							
町営東町住宅		入居者退去後 取壊し							
駅前自転車 駐車場	存続	計画的な予防・ 維持保全の推進							

施設名	H29	H30	H31	H32	H33	H34～H38
し尿処理施設						広域化《建替》 各種調査、施設建設
し尿処理施設 管理棟						広域化《建替》 各種調査、施設建設
駅前公衆トイレ	存続	計画的な予防・ 維持保全の推進				

個別施設計画

8. インフラ施設編

1. 対象施設一覧

No	施設名	数量	備考
1	道路 (道路舗装)	130.6 km	実延長 130,607.1 m 一級町道 路線～実延長：12,323.3 m 二級町道 路線～実延長：17,800.7 m その他の道路 ～実延長：100,483.1 m
2	トンネル	315 m	延長面積：3,084 m ² 、トンネル数：2
3	橋梁	72 橋	橋延長：100,483.1 m、橋面積：5,780 m ² 15 m以上：18 橋、15 m未満：54 橋
4	下水道施設 (下水道管渠)	106.9 km	コンクリート管：9,931 m、塩ビ管：94,247 m その他：2,768 m
5	公園施設	48 箇所	敷地面積：27.37 ha、 都市公園：47 施設、児童遊園：1 施設

2. 今後の方向性

(1) 再編への取組方針

【道路】

都市計画道路の見直しを除いて、原則的には既存の道路を維持保全

【トンネル】

原則的には既存のトンネルを維持保全

【橋梁】

利用が著しく低い路線や道路の廃止を除いて、原則的には橋梁を維持保全

【下水道施設】

原則的には下水道管渠を維持保全

【公園施設】

都市計画公園の実現性を見直しや利用が著しく低い公園を除いて、原則的には既存の公園を維持保全

(2) 施設計画

(期別計画)

第1期 (H29～H38)	第2期以降 (H39～H58)
道路 トンネル 橋梁 下水道施設 公園施設	



(個別計画)

No	施設名	対策(方向性)	説明
1	道路	長寿命化	定期的(5年毎)な道路施設(道路)の点検を行うことにより、道路施設修繕計画を策定し、計画的な予防保全を実施して長寿命化を図る。
2	トンネル	長寿命化	定期的(5年毎)な道路施設(トンネル)の点検を行うことにより、道路施設修繕計画を策定し、計画的な予防保全を実施して長寿命化を図る。
3	橋梁	長寿命化	橋長 15m 以上の橋梁について策定した橋梁長寿命化修繕計画(平成 25 年度策定)に基づき修繕工事を実施するとともに、定期的(5年毎)な道路施設(橋梁)の点検を行うことにより、道路施設修繕計画を策定し、計画的な予防保全を実施して長寿命化を図る。
4	下水道施設	予防保全型維持管理(長寿命化)	平成 2 年事業着手のため、施設の劣化が危惧される状況ではなく、また引続き整備を進めていく中、公共下水道中期ビジョンに基づき下水道施設の定期的な点検や下水道台帳の更新等を行うことにより、常に現状を把握し、今後の長寿命化に繋げていく。

No	施設名	対策（方向性）	説明
5	公園施設	長寿命化	大磯運動公園施設長寿命化計画（平成26年度策定）に基づき、公園施設の更新及び長寿命化を図り、それ以外の公園についても長寿命化計画を策定し、長寿命化を図っていく。

（３）第１期（平成29年度から平成38年度まで）の計画

スケジュール									
施設名	H29	H30	H31	H32	H33	H34～H38			
道路		道路施設修繕計画策定	計画的な予防・維持保全の推進						
トンネル			計画的な予防・維持保全の推進						
橋梁			計画的な予防・維持保全の推進						
	長寿命化計画の実施（15m以上橋梁）								
下水道施設	予防保全型維持管理の推進								
公園施設	大磯運動公園長寿命化計画の実施								
			長寿命化計画策定	都市公園長寿命化の推進					

《対象施設建物詳細》

2. 学校教育施設

No	施設名	建物名	建築年	階数 ※	構造	延床面積 (㎡)	備考
1	大磯小学校	本館	2000	3	RC 造	2,434	
		南校舎	1999	3	RC 造	2,100	
		中校舎	1985	3	RC 造	2,148	
		西校舎	1986	3	RC 造	510	
		ホール前室	2000	3	S 造	133	
		給食調理室	1987	1	RC 造	312	
		体育館	1975	2(1)	RC 造	1,493	
		外トイレ・倉庫	2000	1	RC 造	16	
2	国府小学校	南校舎	1991	3	RC 造	2,989	
		北校舎	1992	3	RC 造	3,579	
		昇降口	1992	3	RC 造	714	
		体育館	1997	2	RC 造	1,794	
		プール	2012	1	RC 造	244	管理棟
3	大磯中学校	1 号館	1960	3	RC 造	1,062	
		2 号館	1965	3	RC 造	1,512	
		3 号館	1983	3	RC 造	3,180	
		昇降口	1965	2	RC 造	131	
		体育館	1965	1(1)	S 造	1,525	
		部室棟	1996	1	RC 造	305	
4	国府中学校	A 棟	1980	3	RC 造	3,201	
		B 棟	1980	3	RC 造	2,009	
		体育館	1982	2	RC 造	1,525	
		部室棟	1995	1	S 造	109	
6	国府幼稚園	管理棟	1981	2	RC 造	419	
		園舎棟	1981	1	RC 造	414	

※ () は地下の階数

6. 社会教育・スポーツ施設

No	施設名	建物名	建築年	階数	構造	延床面積 (㎡)	備考
2	大磯運動公園 管理棟ほか	管理棟	2002	1	RC 造	574	
		屋外便所	2003	1	RC 造	26	
		倉庫棟	2004	1	RC 造	975	そりゲレンデ



大磯町公共施設等第 1 期個別施設計画

平成 30 年 3 月

大磯町政策総務部総務課

〒255-8555 神奈川県中郡大磯町東小磯 183

TEL:0463-61-4100 (代表)

<http://www.town.oiso.kanagawa.jp/>